



自分が加工した部品を使った  
製品の活躍がやりに。



第1製造部  
製造1課  
製造第1係

おぼろ なおや  
小原 直也さん (2020年入社)

自動車やエアコンなど、量産部品の規格に合わせて加工機械に数値を入力する、寸法管理を担当しています。一日を通してミスなく業務を終えられた時には、達成感があります。また、作った部品が使われた自動車を、街中で見かけたときもうれしいです。より作業負担を減らせるように、今後は機械のプログラム作成などにも挑戦したいと思っています。

入社時に、先輩にいろいろ相談しやすい環境だと感じました。今は私も新人教育を担当しているので、積極的に声を掛けるようにしています。新入社員が一人で悩まないよう、先輩社員が支えるメンター教育制度もあるので安心です。



社員インタビュー

ものづくりの楽しさを知る職場。

生産技術課  
設備保全・改善係

しながわ まさと  
品川 優人さん (2019年入社)



機械修理をする設備保全、製品の傷防止装置の組み立てや作業台作成などを行う、業務改善の仕事をしています。業務改善では、作業員一人ひとりに合わせて制作・調整するものもあるので「作業がやりやすくなった」と感謝されると嬉しいです。

実際に働いている現場の人しか分からないこともあるため、生産技術課の仕事はたくさんの声を聞くことが大切になります。部署が違っても社員同士の仲がすごくいいので、皆さんに気軽に困り事を聞ける環境なのは、ありがたいです。

今後は、業務改善につながる装置を自ら設計したり、加工の仕事にも挑戦したいと思っています。



気軽に困りごとを聞ける  
環境が働きやすさ。

確かな性能確保へ  
欠かせない役割担う。



製造3課  
製造第3係  
りんざき みな  
林崎 美菜さん (2018年入社)

出来上がった製品に傷や打痕などがないか、目視や拡大鏡を使用して確認する外観検査を担当しています。主に検査をしているのは配管用部品で、少しの傷が水や油の漏れなど製品の性能にも影響するため、大切な作業です。

自分の仕事が認められ、新しい業務を任せられたときには、すごくやりがいを感じます。新しい知識を覚えられる喜びもあります。今の目標は、検査と加工の仕事をどちらもできるようにすることです。

未経験の方でも、ものづくりに興味がある人であれば活躍できる職場です。気軽に相談できる優しい人たちがたくさんいる会社なので一緒に働きましょう。

小林精機のこだわりのものづくりを支えているのは、  
思いをともに、一緒に働く仲間たち。  
未来を担う若手社員の皆さんに、小林精機の今を語っていただきました。



## 自社開発、大学との連携、 独創技術を追いつける

昭和63年、当時では珍しい研究開発型の協同組合として異業種5社(現在6社)で発足したテクニア岩手協同組合への参画が、当社の研究開発事業の推進力となっています。

平成24年には、東北大学がいわて産業振興センターなどと連携して開発した高性能コバルト合金「COBARION®」の切削加工研究に携わりました。当初は医療分野向けに開発された合金でしたが、医療用に留まらず、一般産業向けの実用化も一部で実現しました。

現在は、これまで培ったメカトロ技術をスマート農業に活用し、岩手県工業技術センターと共同で小型の播種機の開発を行っています。また、岩手大学と共同で切削キズを画像解析するシステムの研究開発も進めています。

### 社員交流が できるイベントを 開催

毎年恒例の夏まつりでは、BBQやかき氷、スイカ割りやくじ等で大盛り上がり。子どもたちも暑さに負けず、大はしゃぎです。



### 『もっと良いやり方がある』 業務改善

小集団活動発表会では、グループ単位で改善活動を行い、成果を発表しています。個人での改善活動も盛んです。





# 小林精機 KOBAYASHI SEIKI

## ■社章について

左側3本線は小林精機の3つの特徴を表します。

- ①半世紀築いた大きな基盤
- ②自由な発想と挑戦心
- ③社員同士の信頼感

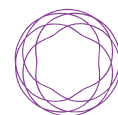
右側は精密機器の頭文字「S」を表します。  
この2つを組み合わせると「小林精機」という企業が  
形成されることを意味し、  
小林精機の頭文字である「K」を表現しています。

## 会社概要

創 業 昭和28年(1953年)10月  
設 立 昭和52年(1977年)2月  
資 本 金 3,500万円  
代 表 者 代表取締役会長 小林清之  
代表取締役社長 小林 要  
事業内容 各種精密機械部品の加工及び組立、  
自動化・省力化機器の設計製作、  
コンピュータソフト開発等  
生産品目 医療分析装置部品、化学分析装置部品、  
バルブ部品、自動弁、産業用機械部品、  
航海計器部品、光学機器部品、自動車部品、  
工業計測機部品、半導体製造装置部品、  
コンピュータ周辺機器部品、工作機械部品、  
その他試作品、試験片等

## 沿革

- 1953年 創業者小林憲吉が盛岡市志家町にて「小林精機製作所」の営業を開始
- 1958年 盛岡市山王町に移転
- 1977年 資本金300万円で法人設立、社名を「有限会社小林精機」に変更
- 1978年 小林清之代表取締役就任
- 1989年 滝沢村大崎に本社工場移転
- 1990年 資本金を500万円に増資、岩手県機械金属厚生年金基金加盟
- 1991年 大崎工場第2工場棟完成
- 1992年 資本金を1,000万円に増資
- 1996年 岩手県より中小企業創造活動促進法の認定を受ける
- 1997年 大崎工場研究開発棟完成
- 2000年 大崎工場第3工場棟完成
- 2001年 社名を「株式会社小林精機」に変更、ISO9002認証取得
- 2003年 設計部門を含め、ISO9001認証へ移行
- 2005年 大崎工場第4工場棟完成
- 2009年 環境マネジメントシステム「KES」認証取得
- 2010年 資本金を2,000万円に増資
- 2011年 ㈱リコーグループ化学物質管理システム認証取得
- 2012年 盛岡西リサーチパークに本社工場移転(第1、第2工場新設)
- 2013年 ISO14001認証取得
- 2015年 切削加工の関連会社㈱コバテックを設立  
// 本社第3工場(検査ロジスティックス棟)完成
- 2017年 小林清之代表取締役会長就任、小林要代表取締役社長就任
- 2018年 東京中小企業投資育成(株)より資本投資を受け資本金3,500万円に増資  
// 経済産業省より地域未来牽引企業の認定を受ける
- 2019年 第4工場(コバテック棟)および第5工場完成  
// 経済産業省より事業継続力強化計画の認定を受ける



地域未来牽引企業

